



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月13日

上場会社名 粧美堂株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7819 URL <https://www.shobido-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 正秀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 齊藤 政基 (TEL) 03-3472-7890
 四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 2024年6月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	10,616	5.9	646	12.8	633	31.2	513	64.2
2023年9月期第2四半期	10,027	24.1	573	8.0	482	△8.8	312	△2.7

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 719百万円(—%) 2023年9月期第2四半期 △109百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年9月期第2四半期	円 銭 38.86	円 銭 —
2023年9月期第2四半期	23.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年9月期第2四半期	百万円 15,950	百万円 6,758	% 42.4
2023年9月期	15,197	6,300	40.8

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 6,758百万円 2023年9月期 6,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 17.00
2024年9月期	—	10.00			
2024年9月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	2.7	1,000	15.0	990	1.8	720	51.4	54.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 壹見健康科技 (上海) 有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年9月期2Q	13,410,000株	2023年9月期	13,410,000株
2024年9月期2Q	200,227株	2023年9月期	200,227株
2024年9月期2Q	13,209,773株	2023年9月期2Q	13,209,773株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年10月1日～2024年3月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善による個人消費の回復に加え円安基調を追い風としたインバウンド需要の増加もあり景気は緩やかな回復傾向がみられました。一方でウクライナ・ロシア情勢の長期化や中東紛争の勃発による地政学リスクの高まりに加えて、日銀による金融緩和の修正による市中金利上昇や急激な円安、原材料価格や光熱費の高騰による物価上昇など、企業経営を取り巻く環境の先行きは依然として不透明なものとなっています。

当連結会計年度は、ここ数年推進し成果を上げている成長のための戦略(商品力強化による「粧美堂」ブランドの価値向上と重点販売先の「モノづくりのパートナー」としての地位獲得、ECビジネスの推進)に注力しております。また、全社横断的な組織であるDX推進室をこの1月から立ち上げ社内のDX化を推進し、一層の生産性向上に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前述した一連の施策やインバウンド効果により、対前年同期比5.9%増の10,616,958千円と増収となり売上総利益額は、2,787,600千円と対前年同期比4.0%増となりました。同利益率は、付加価値を高めた高価格帯商材へのシフトや新商品導入のタイミングで価格改定を行いました。表面的な利益率が低い均一ショップ向けの売上高が増加したことや円安が大幅に進行し海外で生産している自社企画商品の売上原価が上昇したことにより26.3%と対前年同期比0.4%低下いたしました。販売費及び一般管理費は、商流が増加したことに伴い販売促進費、物流費などは増加したものの効率的な業務運営に努め2,140,622千円と対前年同期比1.6%増に留まったため、営業利益は対前年同期比12.8%増の646,977千円となりました。経常利益は、前年同期に計上した為替デリバティブ取引の時価評価に伴う評価損が消滅したことなどを受けて対前年同期比31.2%増の633,511千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、中国のコンタクトレンズ関連の連結子会社(孫会社)の持分譲渡に伴う売却益を97,814千円計上した結果513,316千円(対前年同期比64.2%増)と大幅な増益となりました。

当社グループの事業セグメントは、単一の事業セグメントであります。取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。なお、ここ数年「化粧品」の売上が大幅に伸びていることもあり第1四半期連結会計期間より「化粧品・化粧雑貨」の区分につきましては「化粧品」と「化粧雑貨」に分けて開示をいたしません。

①化粧品

当分類にはメイク関連化粧品、ネイル関連化粧品、ヘアケア関連化粧品などの売上高が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、重点販売先への営業強化により、前期に引き続き均一ショップ向けのメイク関連化粧品やバラエティショップ向けの人気キャラクターをあしらったスキンケア用品、キッズコスメなど化粧品全般が好調に推移し4,028,671千円(対前年同期比8.8%増)の増収となりました。

②化粧雑貨

当分類には、メイク関連雑貨、ネイル関連雑貨、ヘアケア関連雑貨などの売上高が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、化粧品同様に重点販売先への営業強化によりヒートカーラーやネイル関連雑貨などが好調に推移し3,372,769千円(対前年同期比12.3%増)と増収となりました。

③コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、好採算のカラーレンズが好調に推移し1,413,014千円(対前年同期比11.5%増)となりました。

④服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物などの売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、一部の重点販売先に対するバッグ、ポーチ類の導入の遅れなどから1,247,250千円(対前年同期比17.7%減)となりました。

⑤その他

当分類には、ペット用品を含む生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品などの売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、人気キャラクターをあしらったペット関連商材を3月に新たに導入した効果もあり、555,252千円（対前年同期比3.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産)

①資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて753,061千円増加し、15,950,470千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて247,788千円増加し、12,251,329千円となりました。

これは主に、有価証券が100,000千円、商品及び製品が216,905千円、為替予約が272,541千円、その他が174,212千円増加したことに対し、現金及び預金が294,695千円、受取手形及び売掛金が225,910千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて505,272千円増加し、3,699,141千円となりました。

これは主に、投資有価証券が564,962千円増加したこと等によるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて294,629千円増加し、9,191,894千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて237,391千円増加し、6,053,468千円となりました。

これは主に、短期借入金が800,000千円増加したことに対し、未払法人税等が224,877千円、その他が334,600千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて57,237千円増加し、3,138,425千円となりました。

これは主に、その他が113,677千円増加したことに対し、長期借入金67,000千円減少したこと等によるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて458,432千円増加し、6,758,575千円となりました。

これは主に、利益剰余金が350,994千円、繰延ヘッジ損益が196,131千円増加したことに対し、非支配株主持分が93,560千円減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首残高に比べて625,160千円増加し、4,713,722千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は、98,610千円（前年同期は972,779千円の支出）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益を734,472千円計上するとともに、減価償却費95,479千円、売上債権の減少130,500千円、仕入債務の増加209,105千円があったこと、関係会社出資金売却益△97,814千円、棚卸資産の増加△307,387千円、未払金の減少△260,907千円、法人税等の支払額△374,486千円があったこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、獲得した資金は、16,669千円（前年同期は42,874千円の支出）となりました。

これは主に、定期預金の純減少額704,153千円があったこと、投資有価証券の取得による支出△700,980千円があったこと等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、獲得した資金は、523,684千円（対前年同期比43.1%減）となりました。

これは主に、短期借入金の純増加額800,000千円、長期借入れによる収入800,000千円があったこと、長期借入金の返済による支出△917,000千円、配当金の支払額△158,620千円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月13日に公表いたしました2024年9月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,259,425	4,964,729
受取手形及び売掛金	3,818,722	3,592,812
有価証券	—	100,000
商品及び製品	1,737,770	1,954,675
原材料及び貯蔵品	207,130	210,865
為替予約	643,229	915,771
その他	343,144	517,356
貸倒引当金	△5,881	△4,881
流動資産合計	12,003,540	12,251,329
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,307,893	1,307,893
その他(純額)	1,038,569	1,011,705
有形固定資産合計	2,346,463	2,319,599
無形固定資産		
のれん	201,663	187,258
その他	26,822	28,612
無形固定資産合計	228,485	215,871
投資その他の資産		
投資有価証券	225,933	790,895
その他	393,492	373,280
貸倒引当金	△505	△505
投資その他の資産合計	618,920	1,163,670
固定資産合計	3,193,868	3,699,141
資産合計	15,197,409	15,950,470
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,824,233	1,904,502
短期借入金	900,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	1,624,000	1,574,000
未払法人税等	398,795	173,917
賞与引当金	153,300	119,900
その他	915,748	581,148
流動負債合計	5,816,077	6,053,468
固定負債		
長期借入金	2,703,500	2,636,500
役員退職慰労引当金	127,950	138,230
資産除去債務	71,275	71,556
その他	178,462	292,139
固定負債合計	3,081,188	3,138,425
負債合計	8,897,265	9,191,894

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,892,569	5,243,563
自己株式	△81,071	△81,071
株主資本合計	5,621,310	5,972,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,847	84,287
繰延ヘッジ損益	395,607	591,738
為替換算調整勘定	119,818	110,244
その他の包括利益累計額合計	585,273	786,271
非支配株主持分	93,560	—
純資産合計	6,300,143	6,758,575
負債純資産合計	15,197,409	15,950,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	10,027,930	10,616,958
売上原価	7,348,020	7,829,357
売上総利益	2,679,909	2,787,600
販売費及び一般管理費	2,106,170	2,140,622
営業利益	573,738	646,977
営業外収益		
受取利息	8,736	11,502
受取配当金	2,186	2,318
受取手数料	3,815	3,473
不動産賃貸収入	5,280	5,364
その他	4,020	6,366
営業外収益合計	24,038	29,025
営業外費用		
支払利息	12,970	12,055
不動産賃貸費用	770	738
為替差損	97,987	17,936
その他	3,276	11,761
営業外費用合計	115,005	42,491
経常利益	482,770	633,511
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8,015
関係会社出資金売却益	—	97,814
特別利益合計	—	105,829
特別損失		
投資有価証券売却損	—	4,869
特別損失合計	—	4,869
税金等調整前四半期純利益	482,770	734,472
法人税、住民税及び事業税	166,688	161,204
法人税等調整額	5,784	59,227
法人税等合計	172,473	220,431
四半期純利益	310,297	514,040
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,392	723
親会社株主に帰属する四半期純利益	312,689	513,316

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	310,297	514,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,680	14,440
繰延ヘッジ損益	△396,737	196,131
為替換算調整勘定	△24,613	△5,165
その他の包括利益合計	△419,670	205,406
四半期包括利益	△109,373	719,447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△101,112	718,778
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,260	668

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	482,770	734,472
減価償却費	92,521	95,479
のれん償却額	14,404	14,404
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,514	△1,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,257	△33,400
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,150	10,280
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	3,259	1,334
受取利息及び受取配当金	△10,922	△13,820
支払利息	12,970	12,055
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,146
関係会社出資金売却益	—	△97,814
売上債権の増減額(△は増加)	△245,880	130,500
棚卸資産の増減額(△は増加)	△402,064	△307,387
預け金の増減額(△は増加)	△626,929	—
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,416	209,105
未払金の増減額(△は減少)	△133,477	△260,907
その他	57,876	△21,863
小計	△781,508	468,292
利息及び配当金の受取額	9,696	16,540
利息の支払額	△15,304	△11,975
法人税等の還付額	2,122	240
法人税等の支払額	△187,784	△374,486
営業活動によるキャッシュ・フロー	△972,779	98,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△1,649	704,153
有形固定資産の取得による支出	△31,065	△70,678
無形固定資産の取得による支出	△3,365	△12,306
投資有価証券の取得による支出	—	△700,980
投資有価証券の売却による収入	—	58,507
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による収入	—	37,349
その他	△6,794	623
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,874	16,669
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	800,000	800,000
長期借入れによる収入	1,200,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△1,013,000	△917,000
配当金の支払額	△66,152	△158,620
その他	△685	△694
財務活動によるキャッシュ・フロー	920,162	523,684
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,205	△13,804
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△101,696	625,160
現金及び現金同等物の期首残高	4,233,287	4,088,562
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,131,591	4,713,722

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

事業分離

(子会社持分の譲渡)

当社の連結子会社である粧美堂日用品(上海)有限公司(以下「上海粧美堂」)は、2023年10月11日開催の取締役会決議に基づき、2023年10月12日に上海粧美堂の子会社(当社の孫会社)である壹見健康科技(上海)有限公司(以下「壹見」)の持分の一部を譲渡する旨の出資持分譲渡契約を締結し、2024年1月2日に持分譲渡を行いました。これに伴い、壹見は当社の連結子会社から除外しております。

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

杭州悠可化粧品有限公司及び戴氏

(注) 杭州悠可化粧品有限公司は持分譲渡契約に基づく全ての権利及び義務を同社のグループ会社である上海悠期品牌管理有限公司に譲渡しております。

(2) 分離した事業の内容

コンタクトレンズの製造及び販売

(3) 事業分離を行った主な理由

当社は、2019年4月に中国市場拡大を目的として、上海に壹見を設立いたしました。中国の天猫に旗艦店を出店し、BtoCのECサイトでコンタクトレンズの販売拡大を図ってまいりましたが、昨今の価格競争の激化、さらには世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、上海粧美堂が保有する壹見の持分51%のうち、41%を杭州悠可化粧品有限公司及び戴氏に譲渡いたしました。

本件持分の譲渡により、経営資源の選択と集中を図ることで、当社グループの企業価値を更に高められるものと考えております。

(4) 事業分離日

2024年1月2日(みなし売却日2024年1月1日)

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする持分譲渡

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

97,814千円

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	296,206千円
固定資産	45,730千円
資産合計	341,936千円
流動負債	149,632千円
負債合計	149,632千円

(3) 会計処理

当該譲渡持分の連結上の帳簿価額と売却価額との差額を「関係会社出資金売却益」として特別利益に計上しております。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

当社グループの事業セグメントは、単一セグメントであるため、該当事項はありません。

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高	222,632 千円
営業利益	4,586 千円